

WISE CITY

WELLNESS & WALKABLE
INTELLIGENCE & ICT
SMART·SUSTAINABLE & SAFETY
ECOLOGY·ENERGY & ECONOMY

2016年5月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

[連絡先] 横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4083

次世代郊外 まちづくり通信

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々を知ってもらうためのニュースです。

vol.16

2016年度の実行計画

6つのリーディング・プロジェクトをご紹介します

横浜市と東急電鉄の協定締結から、本年4月で5年目を迎えました。『リーディング・プロジェクト(2016)』を策定し、モデル地区内において、新たにコミュニティ拠点(「次世代郊外まちづくり」の活動の情報発信や活動拠点となる「場」)の実現に向けた取組みに着手します。

2016
Project

1 地域のエリアマネジメント ・エネルギーマネジメントに 向けた仕組みづくり

地域に関わる多様な組織・グループがともにまちづくりに取り組めるよう、様々な主体による活動のネットワーク化を進めるとともに、新エネルギーなどを活用した自立分散型エネルギー拠点の検討などを通じて、既成市街地でのスマートコミュニティづくりを推進します。

2016
Project

4 「コミュニティ・リビング」 モデル・プロジェクトの推進

—社宅・住宅団地等の再生と
コミュニティ拠点の実現—

コミュニティ・リビングの実現を目指し、モデル地区内を中心に社宅・住宅団地等の再開発について、民間事業者との連携・協働による取組みを進めるとともに、次世代郊外まちづくりの拠点整備を進めます。

2016
Project

2 まちぐるみの保育・子育て ネットワークづくり

誰もが参加できる子育てしやすいまちを目指し、保育・子育てに関わる様々な主体が連携・協働していくための顔の見える場づくりを進めます。

2016
Project

5 商店街と連携した まちの賑わいづくり

「コミュニティ・リビング」モデル・プロジェクトの推進を契機に、周辺商店街と連携したまちの賑わいづくりを進めます。

2016
Project

3 快適で健康な生活を支える まちの仕組みづくり

誰もが安心して快適に住み続けられるまちを目指し、健康づくりにつながる取組みを進めるとともに、健康に生活を営めるまちの仕組みづくりを推進します。

2016
Project

6 次世代のまちづくりを担う 人材育成の推進

地域や企業と連携し、公的資源をこれまで以上に有効に活用するための仕組みづくりを進めるとともに、シビック・プライドの醸成を通じて、次世代のまちづくりを担う人材の育成を進めます。

2015年度の取組成果をご報告します

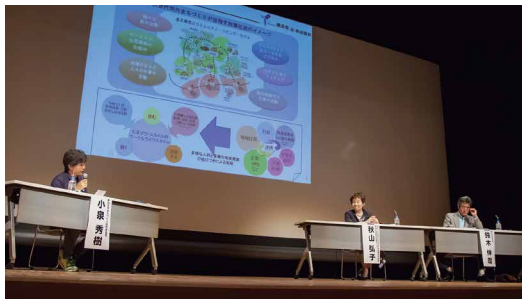
2015年度は横浜市と東急電鉄の協定締結から4年目を迎えたことから、8月に青葉公会堂で「次世代郊外まちづくりフォーラム」を開催し、400名近い方々にご参加いただきました。

また、地域連携プログラムの集大成として、2016年3月にモデル地区内にある美しが丘中学校の生徒が「明日のわがまち」について発表するなど、これまで取り組んできた様々な活動が進化した一年となりました。

ここでは、フォーラムの開催や『リーディング・プロジェクト（2015）』の成果について報告します。

『次世代郊外まちづくりフォーラム』の開催報告

『次世代郊外まちづくりフォーラム』では、住民創発プロジェクトを中心としたコミュニティ形成に向けた取り組みや地域のエネルギーマネジメントに向けた家庭の省エネプロジェクトの成果、まちぐるみの保育・子育てネットワークの仕組みづくりなど、これからの暮らしのヒントとなる、次世代郊外まちづくりの取り組み成果を発表しました。また、会場内に設けた住民創発プロジェクトの紹介コーナーでは、たくさんの方が意見交換する光景が見られました。



『次世代郊外まちづくりフォーラム』トークセッションなどの様子

リーディング・プロジェクト（2015）の取組成果

2015
Project

1

地域のエリアマネジメントに向けた仕組みづくり

平成25年度にスタートした住民創発プロジェクトの各団体は、現在も自主的に活動を継続しています。「たまプラーザ情報連絡会」等を通じて地域活動の情報共有が図られ、住民創発プロジェクトメンバーによる地域活動への参加が進むなど、エリアマネジメントに向けた仕組みづくりが動き出しました。



フォーラムでの住民創発プロジェクトの紹介コーナー

地域のエネルギーマネジメント に向けた仕組みづくり

既成市街地でのスマートコミュニティづくりを目指し、水素を活用した自立分散型エネルギー拠点の検討を行いました。

また、地域包括ケアシステム推進部会と連携した電気自動車のカーシェアの取組みを検討しました。

2013年からの取組み成果やこれまでの検討結果を踏まえ、地域のエネルギーマネジメントに向けた検討を行いました。

まちぐるみの保育 ・子育てネットワークづくり

モデル地区において、保育・教育・子育て支援等に携わる多様な主体が参画した「子ども・子育てタウンミーティング」を4回開催しました。より子育てしやすいまちづくりの実現を目指し、保育・子育てに関わる様々な主体が連携・協働していくための顔の見える場づくりの検討を進めました。



子ども・子育てタウンミーティング

地域包括ケアシステム 「あおばモデル」 パイロット・プロジェクト

青葉区における地域包括ケアシステムの構築に向け、青葉区役所とともに、医療・介護関係者と共同し、医療・介護の多職種の連携システム「あおばモデル」を推進しました。



「自宅生活応援団！医療と介護のつながり」
のロールプレイ

住宅団地・社宅等の再生と 商店街と連携した まちの賑わいづくり ー「コミュニティ・リビング」 モデルプロジェクトの実現ー

青葉区美しが丘1丁目の企業社宅跡地の土地利用転換に際し、地域に必要と考えられる機能の誘導手法を検討し、地区計画の策定に着手しました。

また、青葉区美しが丘2丁目では、企業用地の土地利用転換を踏まえ、次世代郊外まちづくりの活動拠点の整備を検討しました。

公的資源の新たな活用の仕組みづくり ー健康・移動・教育・防災等の推進ー

モデル地区内の中学校とのこれまでの取組成果や住民創発プロジェクトで培った地域住民との連携を生かし、相互に成果を享受し発展する「地域連携プログラム」を推進しました。

2016年3月には、美しが丘中学校2年生（当時）による発表会「次世代郊外まちづくり シビックプライド～美中生が考える 明日のわがまち～」を開催し、シビックプライドの醸成と次世代のまちづくりの担い手育成につながりました。



職業体験

『次世代郊外まちづくり シビックプライド ～美中生が考える 明日のわがまち～』

次世代を担う中学生が、「地域連携プログラム」を通じてこれまで取り組んできた成果を発表しました

地域連携プログラムの取組み

次世代のまちづくりを担う人材育成を目的に、2013 年度からモデル地区内の美しが丘中学校とさまざまな取組みを推進してきました。2015 年度には、地域の多様なリソースが連携・協力し相互発展していくまちづくりの取組み、「地域連携プログラム」を開始しました。

次世代郊外まちづくり住民創発プロジェクトの 1 グループ「AOBA+ART」と連携した「アオバアートゼミ」や「街のはなし・インタビュー」の実施、地域の商店や企業と連携した職場体験を実施するなど、さまざまな取組みを進めてきました。

e-Book の作成と発表会

これらの活動の集大成として、豊富な ICT 知識を持つ地域の住民の方を講師に迎え、美しが丘中学校の2年生が考える「明日のわがまち」を e-Book としてとりまとめました。

2016 年 3 月 23 日、たまプラーザ テラス プラーザホール by iTSCOM にて、生徒達による保護者や地域の方々に向けた発表会を行いました。発表された e-Book は、以下の「青葉区民ポータルサイト - 情報広場・あおばみん」に公開されています。

http://aoba-portal.net/modules/FlipBook/bichu_my_town/

※e-Book とは

e-Book (電子書籍)とは、パソコンや PDA、携帯電話、携帯読書端末などのディスプレイ上で閲覧可能なコンテンツの総称です。



『次世代郊外まちづくり シビックプライド～美中生が考える 明日のわがまち～』発表会

e-Book 作成授業

